

大 大 大 ネットワーク



△丸火自然公園は自然林100ヘクタールの広さ



人と自然が調和する 心豊かな住みよいまち

大 大 大

このコーナーでは、公民館単位に各地区の話題や人物を紹介します。あなたの地区でのちょっとしたこぼれ話、出来事、ご意見などありましたらご連絡ください。2月は神戸、3月は広見地区です。連絡先…市内永田町1-100 市広報広聴課 ☎51-0123 内線2822、締め切りは毎月15日です。(1月は新年号発行のため休みます)

大 大 大 地区は、市の北部に位置し、富士市の三分の一以上を占める広大な地区です。地区は、富士山の裾野に広がる自然林や富士ヒノキに代表される人工林で覆われている北部地域と、集落が形成され、茶栽培を中心とする畑作農業が行われている南部地域とからなっています。特に、この地域の茶栽培は大規模で、気候にも恵まれ良質なやぶ北茶を産出しています。

西端の次郎長地区は、狭客清水次郎長が明治八年〜十七年までに七十六町三反歩の畑を開墾した地域として知られています。

近年、大 大 大 地区は、地区を南北に通じる富士裾野線のほか主要道路の整備が進められ、城山、希望ヶ丘、大峯などの民間分譲団地が形成され、新興住宅地としてベッドタウン化し、人口急増地区となっています。丸火自然公園は、自然林百餘を利用した公園で、自然観察の場として市民の憩の場となっています。また、南端の富士総合運動公園は、市民のスポーツの場として整備が進んでいます。



△メンバーの(左から)尾形さん、小山さん、堀口さん、芹沢さん、秋山(ミカ)さん、秋山(春樹)さん

大 大 大 青春友の会は現在総勢二十一一人。元気印の青年団です。

ユニフォームの赤いジャージは何と言っても目立ちますが、特筆すべきは地域で一目置かれていくこと。冒頭の「We can Can」を初め、マラソン大会、小学生のタコ上げ大会等、地区を盛り上げるイベントの仕掛け人となっています。

また、隔月に一回、広報ふじより読まれていくといううわさの「根っこ」という新聞を大 大 大 地区に全戸配布しています。

大 大 大 青春友の会は、地域にしっかりと根を張った青年団です。

おじやます
おします

元気印の青年団

大 大 大 青春友の会の皆さん

大 大 大 地区のさまざまな行事の運営に青年団の力を欠かすことができません。赤いジャージに身を包んだはりきりヤング、大 大 大 青春友の会におじやました。

大 大 大 公民館二階の小会議室に入ると、黒い布にモザイクのようなものでつくられた馬が目に入ります。モザイクのようなものは、実はアルミ缶を切ったもの。

この夏、大 大 大 青春友の会(会長秋山春樹さん)が地域に対して何かしたいと考え、地区のジュニアリーダーとともに、空き缶を拾いながら丸火までのハイキングをしました。題して「We can Can」。

黒い布の馬は、拾った缶のうちアルミ缶を切りきざみ、ボンドで張ったものなのです。